

## 弊社サイトのご案内



旅行プランのオンライン検索・予約のほか、充実した関連サービスをお届けしています。

<http://www.knt.co.jp>



会社案内・IR情報ページでは、経営情報、各種IR情報をご覧いただけます。

<http://www.knt.co.jp/kouhou>



実績と信頼の  
国内パッケージツアー  
「メイト」



多彩なプランと快適な  
海外パッケージツアー  
「ホリデイ」



PCで!モバイルで!  
いつでもどこでも簡単予約  
宿泊予約サイト「ステイプラス」  
<http://stayplus.jp>



次は、もっと自由に!  
航空券と宿泊の選択組み合わせ  
海外旅行ダイナミックパッケージ  
「旅せるふ」  
<http://tabiself.com>

### 免責事項

本株主通信に掲載している将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。

近畿日本ツーリスト株式会社

株 主 通 信

平成20年1月1日～平成20年6月30日

### INDEX

株主の皆さまへ	1
事業別の概況	3
TOPICS	4
「!」を創造する舞台裏	5
連結財務諸表	7
個別財務諸表	9
企業理念／会社概要／株主メモ	10

**knt!**  
近畿日本ツーリスト

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

**knt!**



代表取締役社長

吉川勝久

株主の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成20年6月30日をもちまして第71期の中間決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

### 中間事業の概況 (平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

当上半期の旅行業界は、ゴールデンウィークの日並びや景況感の悪化に加え、特に海外旅行は燃油サーチャージの高騰や中国における災害・事件の影響が大きく、低調のうちに推移しました。

当社におきましては、事業部門ごとの自立経営体制を確立するとともに、より競争力の高い商品を提供するため、本年1月1日に事業再編を柱とする経営改革を実行しました。具体的には、吸収分割により、当社の店頭販売事業を株式会社ツーリストサービスに承継させるとともに同社の物品販売事業を当社が承

継し、これにあわせて同社の商号を株式会社KNTツーリストに変更いたしました。これと同時に当社の組織体制を、地域別のカンパニー体制から5つの事業別ユニットに再編するとともに、商品企画部門と仕入部門を統合しました。

営業面では、当社独自イベント「まつりインハワイ」の関連旅行を実施したほか、旅行業界初のロタ島チャーター商品を販売しました。また、昨年業務提携をした韓国最大手の旅行会社「ハナツアー」を通じて、韓国人向けの日本国内個人旅行商品の企画販売開始を決定しました。また、フジテレビ系列の子供向け番組キャラクターとして長年親しまれている「ガチャピン」「ムック」を公式キャラクターに採用し、販売促進を図りました。

当社グループにおきましては、店頭販売専門会社である株式会社KNTツーリストにおいて、変化の激しいマーケットへの迅速な対応とお客さまから支持を得られる店づくり・人づくりを推進しております。また、角川グループと共同で新会社 株式会社ティー・ゲートを設立し、Web・モバイルを介して新しい需要や多様な価値観に対応した「旅時間の過ごし方・楽しみ方」を提案するとともに、手づくり感あふれる旅行商品や各種プログラムを紹介するWebサイト「旅の発見」を立ち上げました。

これらの結果、当社グループの業績は、次のとおりであります。

	業績(百万円)	前年同期比
営業収益	33,922	8.9%減
営業利益	△3,588	—
経常利益	△3,374	—
中間純利益	△4,169	—

### 対処すべき課題

下半期の旅行業界は、景気の不透明感や、燃油サーチャージの高騰による海外旅行の手控えなど、需要の停滞が懸念されます。

このような情勢のもと、当社グループでは本年1月1日に実施した事業再編を通じ、強固な経営基盤の確立に努めてまいります。

団体旅行におきましては、教育、企業、自治体、宗教、組織団体のMICE (Meeting, Incentive, Convention・Congress, Event・Exhibition) マーケットに対して、大型イベントを中心に、積極的な営業を推進します。特に、昨年に引き続き中国と沖縄でそれぞれ開催する当社独自イベント「中秋の名月コンサート」「琉球の祭典」等の販売を促進します。

個人旅行におきましては、商品企画部門と仕入部門の一体化の効果を活かし競争力の高い商品を提供す

るとともに、新しい方面の紹介や利便性を高めるチャーター商品を企画し、新しい需要を開拓してまいります。また質の高いコンサルティングとコミュニケーションを進めるための店づくり・人づくりを継続して推進し、販売の拡大を目指します。

訪日旅行におきましては、「ハナツアー」との提携を皮切りに、「世界中のお客さま」をマーケットとした事業基盤の構築を進め、取扱いの拡大を図ります。

また、eビジネスの分野では、当社ホームページおよび携帯電話サイトをさらに充実させ、旅行会社ならではのきめ細かいサービスを提供するとともに、Webサイト「旅の発見」の内容拡充に努めます。

このほか、グループ会社利用の徹底により品質管理を強化し、グループ利益の最大化を目指します。損害保険業においてはリスクヘッジを最優先課題とし、安定経営を進めてまいります。

また、教育旅行におけるカーボンオフセットの提案をはじめとした環境保護活動のほか、公正な取引および社会の一員としての企業の社会的責任への取組みを強化いたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年9月

## 事業別の概況

当社グループの事業別の概況は、次のとおりであります。

### 旅行業

#### 国内旅行

団体旅行につきましては、学生団体は、沖縄伊江島等において一般家庭に宿泊し体験学習を行う「民泊」の提案などに力を注ぎ、堅調に推移しました。一般団体は、企業団体の取扱いに積極的に取り組み、また営業担当者や提携店の業務効率を高めるため、手配を簡略化した小口団体向け旅行商品を新設しました。

個人旅行につきましては、メイトは、「日本讃歌シリーズ」に「知床大百科」などの新コースを加え、テーマ性のある商品で内容充実を図りました。方面別では、東京ディズニーリゾート25周年関連商品が好調であったほか、NHK大河ドラマ「篤姫」の人気により九州方面の商品が順調に推移しました。

#### 海外旅行

団体旅行につきましては、学生団体が順調で、イベント関連旅行の取扱いに努めたほか、国内旅行同様の小口団体向け旅行商品を新設しましたが、全般に燃油サーチャージの高騰、航空会社の観光路線縮小の影響を大きく受けました。

個人旅行につきましては、ロタ島へのチャーター商品のほか、バリ島などアジアの一部方面が好調だったものの、ヨーロッパなどの長距離路線を中心に燃油サーチャージ高騰の影響を受け、また中国方面が災害・事件の連続で大きく落ち込みました。

外国人の訪日旅行は、グループ会社を含めた全社的な取り組みにより、好調に推移しました。

#### その他

人材派遣業においては、リゾート関連施設への営業強化を図り、また旅行関連サービスにおいては、不要パンフレット等の古紙へのリサイクルなど環境関連事業に取り組みました。

これらの結果、旅行業全体の営業収益は、次のとおりであります。

	営業収益(百万円)	前年同期比
国内旅行	22,908	1.5%増
海外旅行	12,965	3.9%減
その他	3,362	14.5%減
消去	△6,010	—
合計	33,226	9.1%減

(注)平成19年度に、本業である旅行業に集中して経営を推し進めることを目的として一部株式を譲渡したことにより、株式会社箱根高原ホテルほか2社が連結子会社から持分法適用の関連会社に異動いたしました。これにより、従来の「その他事業」はその重要性が乏しくなったため、当上半期から「旅行業・その他」に含めることとし、前年実績につきましては「その他事業」を「旅行業・その他」に含め、前年同期比を算出しております。

### 損害保険業

損害保険業の営業収益は、次のとおりであり、前年同期を上まわりました。

	営業収益(百万円)	前年同期比
損害保険	696	2.0%増

## TOPICS

### KNT特別企画 ホリデイ「ロタ島」が好評。

KNTは旅行業界で初めて成田からロタ島(アメリカ合衆国自治領、北マリアナ諸島)への直行チャーター便を企画し、2008年から積極的に販売を展開してきました。ロタ島はこれまで定期直行便の就航はなく、グアムまたはサイパン経由でご案内していましたが、今回、直行チャーター便をご利用いただくことで、乗り継ぎなしの約3時間30分で到着できるようになりました。

その第一弾として企画したホリデイ「ゴールデンウィークロタ4・5日間」(成田発着)は発売から早期に完売。約450名のお客さまをご案内し、大好評を得ました。

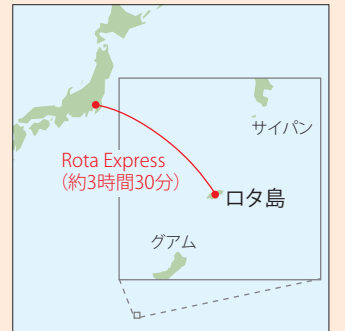
また、これに続く夏商品として、7~10月に成田・名古屋・大阪・福岡発着を設定。「マリアナの至宝」と呼ばれ、海はもちろん豊富な草花や野生動物など大自然を満喫できるロタ島に大勢のお客さまをご案内します。大人気の「海&大自然満喫プラン4日間」では、インストラクター同行のもと、シュノーケリングはもちろん、ロタ版青の洞窟探検も盛り

込み、チャモロダンス鑑賞やロタの人たちとのふれあいもお楽しみいただいています。

#### ロタ島とは?

ロタ島はグアムとサイパンのほぼ中間に位置し、周囲をエメラルドグリーンに染められた常夏の島です。平均気温は27度で湿度も低く、爽やかな気候が人気のヒミツ。世界のダイバーたちを魅了する透明度の高い海、断崖の下のバードサンクチュアリに生息するアカアシカツオドリなどが有名です。

アロマテラピーマッサージやエステで至福のネイチャースパを、太陽が降り注ぐビーチでマリンスポーツを、海を眺めながらのリラックス&お手頃ゴルフを、さまざまな楽しみ方があるマイクロネシアの隠れ家リゾートです。



### 体験プログラム1万件を取り揃えたWebサイト「旅の発見」をオープン。

KNTと角川グループが共同出資する㈱ティー・ゲートは、旅行地での体験プログラムを取り扱うWebサイト「旅の発見」を2008年6月25日にオープンしました。

「旅の発見」はユーザーが旅行先で経験したいテーマ(目的)から検索でき、体験プログラムを選んで予約・決済までできるのが特長。オープン直後の7月の時点で、地域に根ざした体験型・交流型プログラム約1万件を掲載し、他の追随を許さない日本最大級の品揃えとなっています。

#### 体験プログラムの一例



神奈川県・材木座海岸  
アウトリガーカヌー体験

大阪・堺市  
堺「匠の技」に学ぶ旅

東京・築地  
鮮魚の達人が案内する築地市場

# 創造する舞台裏

を

Vol.1

全社CS(顧客満足)活動

## 1 KNTスマイルが世界各地でお客様をおもてなし

海外旅行に出かけたとき、入国審査や税関を通過して、現地スタッフに合流するまで、お客様は緊張しておられます。そんなお客様の緊張や不安を和らげるのがスタッフの笑顔。世界各地のKNTグループのスタッフが笑顔のおもてなしでお迎えています。



お客様の旅がより素敵な思い出になるようサポートいたします。



日頃お世話になっている地域のお役に立ちたいと始めました。

## 2 北海道営業本部の地域貢献活動「安全・安心どさんご運動」

北海道では道庁や警察本部が中心となって関係機関やボランティアに呼びかけ「子供の安全を見守る運動」を展開しています。北海道営業本部では地域貢献もCS活動の一環と考え、この運動に参加。店頭でポスターを掲げ、全ての営業車にステッカーを。あいさつ・見守り・助け合いを通じて、地域の子供たちの安全・安心のお手伝いをしています。

このポロシャツが目印です。



## 4 職業体験プログラム「キッズワーカーズ」が大好評

サイパンでは夏のファミリーシーズンに期間限定のオプションツアー「キッズワーカーズ」を企画・運営しています。これは、現地での職業体験を通じて親と子のふれあいの時間を持っていただくという思いから誕生した企画です。パトカーや白バイ、消防車に乗ったり、消防士さんと一緒に放水訓練をしたりと、体験できるプログラムはさまざま。スタッフ自身も毎回驚かされています。このツアーの参加者には、北マリアナ諸島の警察署および消防署の正式ロゴ入りの本物そっくりのTシャツをプレゼント。これを着てサイパンを歩くと、人目を引いてちょっとした人気者になれます。普段は忙しいお父さんやお母さんも、本当に嬉しそうにお子さんの旺盛な好奇心や成長した姿を笑顔でご覧になっています。

男の子なら一度はパトカーや白バイに乗ってみたい! そんな夢が叶いました。



消防士さんの付き添いのもと、放水訓練を体験。

「お客様へのお約束」そして「社員の行動指針」としてブランドステートメントを平成19年1月1日に策定しました。

### ブランドステートメント

私たちは、お客様にたくさんの「!」をお届けし、感動・笑顔・信頼の「物語」を創造していきます。

お客様の 感動×笑顔×信頼= 私たちの喜びです

1. 私たちは、お客様の声に徹底的にこだわります!
2. 私たちは、明るい笑顔とまごころをもってお客様に接します!
3. 私たちは、安全を優先し、お客様に安らぎと安心をお届けします!
4. 私たちは、ネットワークとチームワークで一丸となって、お客様の信頼に応えます!
5. 私たちは、熱意と創意をもって常に新しいことに挑戦します!
6. 私たちは、社会の一員であることを認識し、事業活動を通じて国際交流、環境保全、社会貢献に努めます!

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第71期中間期末 平成20年6月30日現在
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>91,604</b>
現金・預金	16,769
預け金	23,000
受取手形及び営業未収金	21,253
未収手数料	8,680
未渡クーポン	2,644
たな卸資産	158
前払費用	977
団体前払金	16,494
繰延税金資産	271
未収法人税等	147
その他	1,295
貸倒引当金	△ 88
<b>固定資産</b>	<b>38,212</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,447</b>
建物	2,371
土地	4,440
その他	635
<b>無形固定資産</b>	<b>4,938</b>
ソフトウェア	3,874
ソフトウェア仮勘定	7
のれん	933
その他	122
<b>投資その他の資産</b>	<b>25,827</b>
投資有価証券	16,884
長期貸付金	391
差入保証金	6,141
繰延税金資産	196
その他	2,676
貸倒引当金	△ 462
<b>資産合計</b>	<b>129,817</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第71期中間期末 平成20年6月30日現在
<b>負債および純資産の部</b>	
<b>流動負債</b>	<b>101,962</b>
短期借入金	200
支払手形及び営業未払金	11,076
未払金	2,910
未払法人税等	216
預り金	26,737
未精算旅行券	44,144
団体前受金	14,457
賞与引当金	313
その他	1,905
<b>固定負債</b>	<b>10,901</b>
長期借入金	2
退職給付引当金	3,178
旅行券等引換引当金	3,173
繰延税金負債	1,918
その他	2,630
<b>負債合計</b>	<b>112,864</b>
<b>株主資本</b>	<b>9,948</b>
資本金	7,579
資本剰余金	4,975
利益剰余金	△ 1,890
自己株式	△ 715
<b>評価・換算差額等</b>	<b>6,620</b>
その他有価証券評価差額金	6,512
繰延ヘッジ損益	144
為替換算調整勘定	△ 37
<b>少数株主持分</b>	<b>383</b>
<b>純資産合計</b>	<b>16,953</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>129,817</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第71期中間期 平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで
営業収益	33,922
営業費用	37,511
営業損失	3,588
営業外収益	440
営業外費用	226
経常損失	3,374
特別利益	156
特別損失	387
税金等調整前中間純損失	3,605
法人税、住民税及び事業税	181
法人税等調整額	420
少数株主損失	38
<b>中間純損失</b>	<b>4,169</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 (平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年12月31日 残高	7,579	4,975	2,278	△ 712	14,120	9,832	183	275	10,290	24	24,436
中間連結会計期間中の変動額											
中間純損失(△)			△ 4,169		△ 4,169						△ 4,169
自己株式の取得				△ 2	△ 2						△ 2
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					—	△ 3,319	△ 38	△ 312	△ 3,670	359	△ 3,310
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 4,169	△ 2	△ 4,171	△ 3,319	△ 38	△ 312	△ 3,670	359	△ 7,482
平成20年6月30日 残高	7,579	4,975	△ 1,890	△ 715	9,948	6,512	144	△ 37	6,620	383	16,953

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別財務諸表

(一部要約)

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第71期中間期末 平成20年6月30日現在
<b>資産の部</b>	
流動資産	83,793
固定資産	33,939
<b>資産合計</b>	<b>117,732</b>
<b>負債および純資産の部</b>	
流動負債	93,926
固定負債	10,021
<b>負債合計</b>	<b>103,947</b>
株主資本	9,155
資本金	7,579
資本剰余金	4,765
利益剰余金	△ 3,181
自己株式	△ 7
<b>評価・換算差額等</b>	<b>4,629</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,784</b>
<b>負債および純資産合計</b>	<b>117,732</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	第71期中間期 平成20年1月1日から 平成20年6月30日まで
営業収益	27,088
営業費用	29,495
営業損失	2,407
営業外収益	479
営業外費用	263
経常損失	2,191
特別利益	2
特別損失	715
<b>税引前中間純損失</b>	<b>2,904</b>
法人税、住民税及び事業税	58
法人税等調整額	455
<b>中間純損失</b>	<b>3,418</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金			自己株式	株主資本合計	その他の 有価証券 評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算 差額等 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計						その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	
平成19年12月31日 残高	7,579	3,205	1,560	4,765	236	△ 5	12,576	6,759	204	6,963	19,540
当中間期中の変動額											
中間純損失(△)					△ 3,418		△ 3,418				△ 3,418
自己株式の取得						△ 2	△ 2				△ 2
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額 (純額)							—	△ 2,324	△ 9	△ 2,334	△ 2,334
当中間期中の変動額合計	—	—	—	—	△ 3,418	△ 2	△ 3,421	△ 2,324	△ 9	△ 2,334	△ 5,755
平成20年6月30日 残高	7,579	3,205	1,560	4,765	△ 3,181	△ 7	9,155	4,435	194	4,629	13,784

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 企業理念

「KNTは世界中の人々の出会いと感動を創造し、  
笑顔あふれる社会の実現にチャレンジしていきます。」

### 企業ブランド名

**K N T**  
ケイ エヌ ティ

### 企業ブランドロゴマーク



## 会社概要 (平成20年6月30日現在)

### 会社概要

商号	近畿日本ツーリスト株式会社
設立	昭和22年5月
創立	昭和30年9月
本社	東京都千代田区神田松永町19番の2 電話番号 (03)3255-7115
資本金	7,579百万円
発行済株式総数	96,175,121株

### 取締役および監査役

取締役会長	山口 昌紀	取締役	向山 秀昭
代表取締役社長	吉川 勝久	取締役	西野目 信雄
代表取締役副社長	瀬戸 恒好	取締役	伊藤 淑雄
代表取締役副社長	内田 安次	取締役	岩橋 伸行
専務取締役	馬越 俊司	監査役(常勤)	岡崎 尋幸
専務取締役	越智 良典	監査役(常勤)	大塚 政夫
取締役兼執行役員	杉井 健二	監査役	岸田 雅雄
取締役兼執行役員	斎藤 彰英	監査役	植田 和保
取締役相談役	太田 孝		

## 株主メモ

単元株式数	1,000株	上場証券取引所	東京・大阪
事業年度	1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会関係 12月31日 期末配当支払株主確定関係 12月31日 中間配当支払株主確定関係 6月30日 その他 あらかじめ公告する日	(郵便物送付先 および電話連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
定時株主総会	3月中	同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 (野村證券株式会社 全国本支店)
公告掲載紙	日本経済新聞		